

セッション名	教育研修講演
演題名	膝蓋骨不安定症の病態と治療 - この謎に包まれた症候群 -
演者名	石橋 恭之 先生
所属名	弘前大学大学院 医学研究科 整形外科科学講座

抄録（400 文字程度）

膝蓋骨不安定症は膝蓋大腿関節のアライメント障害に起因する疾患群で、放置されることで膝関節機能が低下するばかりでなく、将来的には変形性関節症など不可逆的変化を来す。このため保存治療無効例に対しては外科的治療を行い、膝蓋大腿関節のアライメントを改善すべきである。その外科的治療には近位アライメント矯正(proximal realignment)と遠位アライメント矯正(distal realignment)があり、さらにはこの両者を組み合わせた多数の手術術式が存在する。膝蓋骨不安定症のなかでも反復性膝蓋骨脱臼は、何らかの外傷を契機に発症することが多いが、発症には身体的素因が関与しており、治療法選択にあたっては個々の素因を詳細に検討することが重要である。現在、内側膝蓋大腿靭帯 (MPFL) 再建術が治療の第一選択となっているが、膝蓋骨高位や脛骨粗面の外方偏位など素因の強い症例に対してはアライメント異常を改善する術式も考慮すべきである。